

News Release

CONCORDIA
Financial Group

2019年5月17日

会社名 株式会社コンコルディア・フィナンシャルグループ

コード番号 7186 東証第一部

次期共同利用システムに関する基本合意について

コンコルディア・フィナンシャルグループ（代表取締役社長 川村 健一）の子会社である横浜銀行（代表取締役頭取 大矢 恭好）と東日本銀行（代表取締役頭取 大神田 智男）は、北陸銀行（代表取締役頭取 庵 栄伸）、北海道銀行（代表取締役頭取 笹原 晶博）、七十七銀行（代表取締役頭取 小林 英文）、およびエヌ・ティ・ティ・データ（代表取締役社長 本間 洋）との間で、稼働中の共同利用システム（名称「MEJAR（メジャー）」）について、「オープン基盤」の採用を第一候補とする次期共同利用システムの検討に着手することを本日、基本合意しましたのでお知らせします。

MEJARは、ITコストの低減などを目的に、2010年から稼働を開始した共同利用システムです。預金・為替・融資等の業務処理機能などを担う基幹系システムのほか、データの加工・分析などをおこなうシステム、ATM、インターネットバンキングなどのシステムについて5行で共同利用しています。

このたびの基本合意では、お客さまの多様化するニーズやデジタル化の進展に対応するため、さまざまなハードウェアやソフトウェアを環境の変化に応じて柔軟に選択できる「オープン基盤」の採用を検討します。これにより、将来的な機能の拡張性や費用面での優位性を得られるほか、最新技術の活用も可能となります。また、今後も5行がMEJARの運営に継続して参加することをあわせて合意しています。

なお、次期共同利用システムへの移行は2023年度以降となる予定ですが、具体的なスケジュールについては今後検討していきます。

コンコルディア・フィナンシャルグループは、今後もシステム共同化によるサービス向上をはかるとともに、地域にとってなくてはならない金融グループとしてお客さまの豊かな人生、事業の発展に貢献します。

以上

本件に関する照会先（報道関係）

コンコルディア・フィナンシャルグループ 経営企画部 広報室

TEL：03-5200-8208

【ご参考】これまでの経緯

2005年11月：横浜銀行、北陸銀行、北海道銀行がシステム共同利用を検討する旨基本合意

2010年 1月：横浜銀行が先行して共同利用システムに移行（利用を開始）

2011年 5月：北陸銀行、北海道銀行が共同利用システムに移行（3行での利用を開始）

2016年 1月：七十七銀行が共同利用システムに移行（4行での利用を開始）

2019年 1月：東日本銀行が共同利用システムに移行（5行での利用を開始）

2019年 5月：次期共同利用システム利用を検討する旨基本合意

以 上